



## 平成27年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月12日

上場取引所 東

上場会社名 アスкул株式会社

コード番号 2678 URL <http://www.askul.co.jp/kaisya/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岩田 彰一郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長

(氏名) 玉井 継尋

TEL 03-4330-5130

四半期報告書提出予定日 平成26年9月26日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年5月期第1四半期の連結業績(平成26年5月21日～平成26年8月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第1四半期	63,037	9.5	381	4.6	404	2.1	182	37.3
26年5月期第1四半期	57,560	8.3	364	△79.5	396	△77.2	133	△85.5

(注) 包括利益 27年5月期第1四半期 328百万円 (—%) 26年5月期第1四半期 △505百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第1四半期	3.32	3.31
26年5月期第1四半期	2.46	2.46

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年5月期第1四半期	116,513	57,760	49.2
26年5月期	119,976	58,073	48.0

(参考) 自己資本 27年5月期第1四半期 57,370百万円 26年5月期 57,626百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	15.00	—	15.00	30.00
27年5月期	—				
27年5月期(予想)		15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年5月21日～平成27年5月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	132,500	11.1	2,000	36.3	1,980	30.0	1,000	79.2	18.21
通期	277,000	9.3	6,500	52.0	6,460	45.2	3,400	57.0	61.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期1Q	55,029,200 株	26年5月期	54,929,700 株
② 期末自己株式数	27年5月期1Q	29,459 株	26年5月期	29,459 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期1Q	54,945,980 株	26年5月期1Q	54,115,538 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
5. 補足情報	8
販売費及び一般管理費の明細（連結）	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成26年5月21日～平成26年8月20日）におけるわが国経済は、輸出を中心に企業業績は改善基調であるものの、消費税増税前の駆け込み需要の反動により個人消費に落ち込みが見られ、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のなか、当第1四半期連結累計期間は、当社の基幹事業であるBtoB事業において、戦略分野と位置付けて注力する工場・建設現場向け商材等を取り扱うMRO事業が順調に成長していること等が寄与し、売上高・利益がともに堅調に推移いたしました。BtoC事業の「LOHACO」においては、積極的な広告宣伝や主力商品の価格戦略等を実施したことにより、大幅な増収となりました。この結果、当第1四半期連結累計期間は前年同期比で増収増益となりました。

各事業の状況につきましては、以下のとおりです。

BtoB事業につきましては、さらなる事業基盤・事業収益の強化に向けて、戦略分野と位置付けております工場・建設現場・研究所や医療・介護施設などのお客様の開拓に、当社エージェントとともに注力した結果、工場・建設現場・研究所でご利用されるMRO商材、医療・介護施設・店舗等で頻繁にご利用される洗剤・掃除用品等の商材において2桁の伸長となったことに加え、家具、文具等も堅調に推移したことで、売上高は順調に拡大し、前年同期比で32億11百万円増収の589億48百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

なお、平成26年7月4日にサービス材の拡充を図るため、お弁当・ケータリングの総合宅配サービス「ごちクル」を展開するスターフェスティバル株式会社と業務・資本提携契約書を締結しており、平成26年10月を目処に当社のサービスメニューに追加する予定です。

BtoC事業の「LOHACO」につきましては、中期の経営指標としているロイヤルカスタマー100万人達成に向けて、取扱い商材の充実および新規のお客様のご利用拡大に注力しました。

商材については、「LOHACO」内の医薬品専門サイトである「ロハコドラッグ」にて平成26年6月に第1類医薬品の販売を開始し、さらに平成26年8月20日には、大手4大ビールメーカーを中心にビール類等を本格的に取扱う専門サイト「ビアショップ（BEER SHOP）」をオープンいたしました。

また、サプライヤーと連携したマーケティング活動にも注力し、新商品や話題の商品等を「1dayサンプル」としてお試し価格でご提供することで、多くのお客様に商品を体験、価値を認知していただき、日常の購入に繋げてもらう等のWEB上での新たなマーケティング手法の開発や、その実践をとおして、新規のお客様のご利用拡大に努めてまいりました。

消費税増税後の反動の影響はあったものの、ご注文数は消費税増税前の水準まで回復してきており、BtoC事業の「LOHACO」の売上高は前年同期比で22億65百万円増収の40億89百万円（前年同期比124.3%増）となりました。

以上の結果、両事業を合計した売上高は630億37百万円（前年同期比9.5%増）となりました。売上総利益は、生活用品や粗利益率の高いMRO商材等の増収により、135億76百万円（前年同期比6.2%増）となりました。

販売費及び一般管理費は、増収による変動費の増加等で、131億94百万円（前年同期比6.2%増）となりましたが、売上高販管費比率は、前期に発生した「ASKUL Logi PARK 首都圏」の取得に係る費用の減少に加えて、一時的に悪化していた物流生産性が改善されて正常化したことから、前年同期比で0.7ポイント改善しております。

これらの要因によって、当第1四半期連結累計期間の営業利益は3億81百万円（前年同期比4.6%増）、経常利益は4億4百万円（前年同期比2.1%増）、四半期純利益は1億82百万円（前年同期比37.3%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,165億13百万円となり、前連結会計年度末と比べ34億62百万円減少いたしました。主な増加要因は、株式の取得および社債の購入等により投資有価証券が31億37百万円増加したことであり、また、主な減少要因は、当該株式の取得および社債の購入等に係る支払に伴い現金及び預金が42億72百万円減少したことに加えて、受取手形及び売掛金が10億7百万円、流動資産のその他に含まれる未収消費税等が7億37百万円、それぞれ減少したことであり、

負債は587億53百万円となり、前連結会計年度末と比べ31億49百万円減少いたしました。主な増加要因は電子記録債務が77億87百万円増加したことであり、主な減少要因はファクタリング未払金が117億65百万円減少したことであり、

なお、当第1四半期連結会計期間において、全てのサプライヤー等への支払方法をファクタリングから電子記録債務に変更しております。

純資産は577億60百万円となり、前連結会計年度末と比べ3億12百万円減少いたしました。主な増加要因は新株予約権の行使により資本金および資本剰余金に含まれる資本準備金がそれぞれ1億18百万円、保有する株式の時価評価によりその他有価証券評価差額金が1億45百万円増加したことであり、

主な減少要因は、四半期純利益の計上1億82百万円、配当金の支払8億23百万円により利益剰余金が6億41百万円減少したことであり、

以上の結果、自己資本比率は49.2%（前連結会計年度末は48.0%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年7月4日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を平均残存勤務年数を基礎とする方法から、デュレーションに基づく単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債および利益剰余金に与える影響はありません。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

#### 4. 四半期連結財務諸表

##### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年5月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	35,316	31,044
受取手形及び売掛金	29,049	28,042
商品及び製品	9,758	9,820
原材料及び貯蔵品	87	38
その他	5,991	4,499
貸倒引当金	△31	△44
流動資産合計	80,172	73,400
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,284	13,356
減価償却累計額	△1,704	△1,901
建物及び構築物 (純額)	11,579	11,454
土地	7,232	7,242
建設仮勘定	61	696
その他	11,819	11,844
減価償却累計額	△4,453	△4,681
その他 (純額)	7,366	7,163
有形固定資産合計	26,240	26,556
無形固定資産		
ソフトウェア	4,401	3,975
ソフトウェア仮勘定	159	257
のれん	2,927	2,959
その他	13	11
無形固定資産合計	7,501	7,203
投資その他の資産		
投資有価証券	433	3,570
繰延税金資産	2,092	2,190
その他	3,578	3,727
貸倒引当金	△43	△136
投資その他の資産合計	6,061	9,353
固定資産合計	39,803	43,113
資産合計	119,976	116,513

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年5月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,469	32,595
電子記録債務	378	8,166
短期借入金	550	350
1年内返済予定の長期借入金	1,112	1,160
未払金	3,465	3,412
ファクタリング未払金	14,573	2,807
未払法人税等	282	93
未払消費税等	157	411
引当金	507	620
その他	927	1,063
流動負債合計	53,424	50,681
固定負債		
長期借入金	758	432
退職給付に係る負債	1,822	1,889
リース債務	4,475	4,349
引当金	160	132
資産除去債務	981	986
その他	280	280
固定負債合計	8,477	8,071
負債合計	61,902	58,753
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,801	20,919
資本剰余金	23,313	23,431
利益剰余金	13,438	12,797
自己株式	△49	△49
株主資本合計	57,502	57,098
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	148	294
為替換算調整勘定	26	25
退職給付に係る調整累計額	△51	△47
その他の包括利益累計額合計	123	272
新株予約権	342	288
少数株主持分	104	102
純資産合計	58,073	57,760
負債純資産合計	119,976	116,513

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年5月21日 至 平成25年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年5月21日 至 平成26年8月20日)
売上高	57,560	63,037
売上原価	44,775	49,461
売上総利益	12,785	13,576
販売費及び一般管理費	12,420	13,194
営業利益	364	381
営業外収益		
受取利息	15	14
為替差益	28	—
助成金収入	8	16
その他	7	27
営業外収益合計	60	58
営業外費用		
支払利息	20	22
支払手数料	1	1
その他	6	10
営業外費用合計	28	35
経常利益	396	404
特別損失		
固定資産除却損	3	25
その他	—	1
特別損失合計	3	26
税金等調整前四半期純利益	392	377
法人税、住民税及び事業税	15	105
法人税等調整額	242	92
法人税等合計	258	197
少数株主損益調整前四半期純利益	133	180
少数株主利益	0	△2
四半期純利益	133	182



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年5月21日 至 平成25年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年5月21日 至 平成26年8月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	133	180
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△660	145
為替換算調整勘定	21	△0
退職給付に係る調整額	—	3
その他の包括利益合計	△639	148
四半期包括利益	△505	328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△507	330
少数株主に係る四半期包括利益	1	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

5. 補足情報

販売費及び一般管理費の明細 (連結)

科目	前第1四半期 連結累計期間 (自 平成25年5月21日 至 平成25年8月20日)		当第1四半期 連結累計期間 (自 平成26年5月21日 至 平成26年8月20日)			(参考) 前期 平成26年5月期 (自 平成25年5月21日 至 平成26年5月20日)	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	前年同期比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)
人件費※1	3,289	5.7	3,592	5.7	109.2	13,895	5.5
配送運賃※2	2,466	4.3	2,831	4.5	114.8	10,481	4.1
販売促進引当金繰入額	128	0.2	125	0.2	97.9	419	0.2
業務外注費	846	1.5	809	1.3	95.6	3,333	1.3
業務委託費※2	1,329	2.3	1,485	2.4	111.7	5,805	2.3
地代家賃	1,293	2.2	1,262	2.0	97.6	5,034	2.0
貸倒引当金繰入額	△6	△0.0	59	0.1	—	△30	△0.0
減価償却費※3	279	0.5	448	0.7	160.7	1,728	0.7
ソフトウェア償却費	531	0.9	571	0.9	107.6	2,211	0.9
その他諸経費	2,261	4.0	2,008	3.1	88.8	8,546	3.3
合計	12,420	21.6	13,194	20.9	106.2	51,425	20.3

※1 前年同期と比較して、当第1四半期連結累計期間の人件費が増加しておりますが、主な要因は、物流センター勤務者の雇用形態の変更および「LOHACO」取り扱い商材の拡充に伴う商品企画・調達等人員の増加の影響であります。

※2 前年同期と比較して、当第1四半期連結累計期間の配送運賃および業務委託費が増加しておりますが、主な要因は、売上高の増加による影響であります。

※3 前年同期と比較して、当第1四半期連結累計期間の減価償却費が増加しておりますが、主な要因は、「ASKUL Logi PARK 首都圏」の稼働による影響であります。